

報告第2号

平成27年度 事業計画

公益社団法人静岡県薬剤師会

平成 27 年度 事業計画

日本の 65 歳以上の人口は、既に 3,000 万人を超え、2042 年の約 3,900 万人でピークを迎え、その後も 75 歳以上の人口割合の増加が予想されている。

このために厚生労働省は、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的の下で、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を通じ、医療・介護を総合的に確保するための基本的な方針を告示した。

地域医療における薬剤師には、医師、看護師、介護支援専門員など多職種と連携してシームレスな医療提供体制を確保することが求められており、地域包括ケアシステムの一員としてその職能を十分に発揮し、貢献していかなければならない。そして薬局には、地域に密着した健康情報の拠点として、医薬品等の適正な使用に関する助言や健康に関する相談など、セルフメディケーション支援と在宅医療への参画が求められている。

そのため、薬局は最も身近な健康ステーションとしての機能を強化し、在宅医療への積極的な参画、介護・認知症の初期相談、ジェネリック医薬品の使用促進、危険ドラッグの啓発など、何でも相談できる薬剤師として役割を果たすべく、業務の充実に向けた取り組みを推進していかなければならない。

また、昨年度は、医薬品の販売制度と医薬品・医療機器等の提供体制等に関わる制度改正が施行された。医薬品販売制度については、一般用医薬品の販売方法に関するルールの整備、要指導医薬品の販売に関する安全確保のための仕組みの整備等の医薬品販売業に関する規制の見直し、指定薬物の扱いなどが主な内容であり、また、医薬品・医療機器等の提供体制については、医薬品・医療機器等に係る安全対策の強化、医療機器・再生医療等製品の特性を踏まえた規制の構築など、医薬品等の品質、有効性、安全性の確保に係る責務が関係者に課せられることが明記された。さらには、薬事法及び薬剤師法の改正により、医薬品販売及び調剤された薬剤の提供における薬剤師による薬学的知見に基づく指導が明記、義務付けされたことにより、これらを踏まえた適切な販売並びに提供体制への対応の徹底に努めていく。

医薬分業については、費用や質的な問題が提起されているが、その意義を裏付けるための活動のあり方を検討するとともに、患者の医療安全確保のための諸活動を一層推進する。

さらには、診療報酬・調剤報酬、介護報酬のあり方、薬剤師養成教育のための諸活動、薬剤師の生涯学習の推進、医薬品及び薬剤師の役割に関する正しい知識を広く県民に浸透させるための広報活動、薬剤師会への入会促進施策等による組織強化など、

引き続き所要の活動の充実に努める。

以上、本年度はこれらの課題に対応するとともに、公益社団法人として日本薬剤師会並びに県内の地域・職域薬剤師会との連携の下、次の事業を実施する。

- (1) 薬学及び薬業の進歩発展に関する事業
- (2) 薬業を通じて医薬品の適正使用等医療貢献に関する事業
- (3) 公衆衛生の普及及び指導に関する事業
- (4) 薬事衛生の普及及び啓発に関する事業
- (5) 地域医療への貢献及び医療安全の確保に関する事業
- (6) 災害時等の医薬品の確保及び供給に関する事業
- (7) 日本薬剤師会等との連携、協力及び支援に関する事業
- (8) 会員の福利厚生事業
- (9) その他会員を対象とした共益に関する事業

<公益目的事業>

薬剤師の倫理の高揚及び学術の振興を図り、薬学薬業の進歩発展を図ることにより、静岡県民の健康な生活の確保及び向上に寄与する事業

I 薬学及び薬業の進歩発展に関する事業

1 生涯学習の推進

<学術情報部>

- (1) 日本薬剤師研修センター及び静岡県薬剤師研修協議会が実施する生涯学習事業への協力
- (2) 静岡県立大学薬学部による「薬剤師生涯学習支援講座」への協力
- (3) 研修センター構想あり方検討有識者会議の開催
- (4) eラーニングによる生涯学習・研修システムの検討
- (5) 地域薬剤師会生涯学習担当者会議の開催

2 薬剤師養成のための薬学教育への対応

- (1) 薬学教育協議会認定「認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ」の開催
- (2) 日本薬剤師研修センター認定「認定実務実習指導薬剤師養成講習会」の開催
- (3) 認定実務実習指導薬剤師フォローアップ研修会の開催
- (4) 病院・薬局実務実習東海地区調整機構への参画
- (5) 地域薬剤師会薬局実務実習担当者会議の開催
- (6) 静岡県立大学薬学部薬局実務実習への協力

ア 静岡県立大学薬学部学生病院・薬局実務実習協議会への参画

イ 平成27年度薬学部1年生早期体験学習受入薬局の調整

ウ 実務実習報告会への参加

- エ O S C E（客観的臨床能力評価試験）への評価者派遣
- オ その他静岡県立大学薬学部が主催する関連事業への協力

(7) 東海薬学教育コンソーシアムへの協力

3 学術活動の推進

- (1) 第48回日本薬剤師会学術大会（鹿児島大会）への参加
- (2) 第48回東海薬剤師学術大会（三重大会）への参加
- (3) 日本薬学会等学術団体との連携

Ⅱ 薬業を通じて医薬品の適正使用等医療貢献に関する事業

〈学術情報部〉

- 1 医薬品及び薬剤師の役割に関する正しい知識を広く国民に浸透させるための「薬と健康の週間」事業の推進
 - (1) 「薬と健康の週間」関連事業への助成
 - (2) 日本薬剤師会「薬と健康の週間」統一事業への協力
- 2 地域・職域薬剤師会主催の健康フェア等への協力
- 3 日本薬剤師会「薬剤イベントモニタリング（DEM）」事業への協力
- 4 高度管理医療機器等の販売業等に係る継続研修会の開催

〈職能対策部〉

- 5 健康づくり拠点薬局推進事業の実施
 - (1) 薬局の健康相談窓口の啓発
 - (2) 禁煙サポート等に関する研修会の開催
 - (3) 薬局における健康支援の推進
- 6 医療・介護保険制度への対応
 - (1) 調剤報酬請求の適正化
 - ア 調剤報酬請求事務講習会の開催
 - イ 次期調剤報酬改定に関する説明会の開催
 - ウ 薬歴管理等に関する地域薬剤師会主催の研修会等への講師の派遣
 - エ 東海北陸厚生局実施の保険薬局に対する個別指導において、その措置が「再指導」若しくは「経過観察」であった場合の当該薬局に対する指導の実施
 - オ 審査支払関係団体との調整
 - (2) 調剤報酬改定に関する情報の収集及び提供
 - (3) 東海北陸厚生局等による保険薬局対象の「共同指導」「個別指導」「集团的個別指導」「集団指導」及び保険薬剤師対象の「集団指導」等への立会い
 - (4) 医療のIT化に伴う処方せん、薬歴、情報提供書類等の電子化に関する情報収集
 - (5) 地域薬剤師会社会保険担当者会議の開催
- 7 医薬品医療機器等法関係法令の遵守の徹底

- (1) 一般用医薬品販売制度に関する講習会の開催
- (2) 地域薬剤師会一般用医薬品販売制度担当者会議の開催

Ⅲ 公衆衛生の普及及び指導に関する事業

〈学校保健部〉

- 1 医薬品の正しい知識の普及と、薬物乱用防止のための「薬学講座」の実施
- 2 学校薬剤師講習会の開催
- 3 「学習指導要領」の改訂に伴う学校保健教育に係る学校薬剤師活動の検討
- 4 学校環境衛生活動の充実の検討
- 5 ホームページ学校薬剤師サイトの運営
- 6 地域薬剤師会学校薬剤師担当者会議の開催
- 7 静岡県の「麻薬・覚せい剤乱用防止運動」「危険ドラッグ撲滅運動」への協力

Ⅳ 薬事衛生の普及及び啓発に関する事業

〈総務部〉

- 1 会報「しずおか」の発行
- 2 ホームページの充実
- 3 薬剤師職能メディア啓発事業の実施
- 4 報道機関等内外コミュニケーション活動の推進

Ⅴ 地域医療への貢献及び医療安全の確保に関する事業

〈学術情報部〉

- 1 スポーツファーマシストによるドーピング防止活動及び教育啓発活動の推進
 - (1) 日本アンチ・ドーピング機構「公認スポーツファーマシスト認定制度」への協力
 - (2) 静岡県体育協会等によるアンチ・ドーピング活動への協力
 - (3) スポーツファーマシスト・スキルアップ研修会の開催
- 2 医薬品情報管理センターの運営
 - (1) 医薬品等に関する情報の収集及び解析
 - (2) 医薬品等に関する情報の会務組織、医療関係者及び関係機関・団体への提供
 - (3) 患者及び家族等が抱える医薬品等に関する相談・苦情の応需
 - (4) 高齢者医薬品安全使用推進事業の推進
 - (5) 医薬品情報管理センターのあり方の検討

〈職能対策部〉

- 3 調剤過誤防止対策の推進
 - (1) インシデント事例の収集及び提供
 - (2) 調剤過誤防止・医療安全管理講習会の開催

- (3) 日本医療機能評価機構「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業」への協力
- 4 薬局における偽造処方せん及び多重受診患者に関する情報の収集及び対応
- 5 薬薬連携の向上に関する研究
- 6 地域医療の推進

〈職能対策部〉

- (1) 「お薬手帳」の適正使用の推進

〈地域医療部〉

- (2) 医療材料等供給体制整備事業の推進
- (3) 訪問薬剤管理指導業務の支援
 - ア 臨床体験学習プログラム研修の実施
 - イ 薬局薬剤師のスキルアップ研修の実施
 - (ア) 医療連携推進研修会
 - (イ) 薬局薬剤師のコミュニケーションスキルアップ研修会
 - (ウ) 在宅医療に関する研修会
 - ウ 訪問薬剤管理指導業務啓発用チラシの作成

〈職能対策部〉

- (4) 薬剤師確保対策の推進
 - ア 薬剤師復職支援プログラム研修の実施
 - イ 静岡県薬剤師会ホームページ「薬局で働こう」サイトの運営

〈地域医療部〉

- (5) 在宅訪問実施可能薬局登録制度の推進
- (6) 介護支援事業所等向けの「お薬出前講座」の実施
- (7) 地域医療連携に関する情報の収集及び提供のあり方の検討
- (8) 静岡県薬剤師会ホームページ地域医療連携サイトの運営
- (9) 地域医療関係団体への協力
- (10) 地域薬剤師会地域医療担当者会議の開催

〈職能対策部〉

- 7 薬事・健康保険団体・機関が行う医薬分業関係事業への協力

VI 災害時等の医薬品の確保及び供給に関する事業

〈総務部〉

- 1 災害時における携帯電話情報連絡システムの普及
- 2 医療救護活動に関する防災訓練の実施
 - (1) 大規模地震発生時における被害状況調査に関する連絡訓練の実施
 - (2) 静岡県総合防災訓練及び地域防災訓練への協力
 - (3) 災害薬事コーディネーターの養成
- 3 地域・職域薬剤師会災害対策担当者会議の開催

<収益事業>

<総務部>

- 1 毒物劇物取扱者試験準備講習会の開催
- 2 斡旋書籍及び諸用紙の販売
- 3 事務室の賃貸

<管理部門>

<総務部>

- 1 地域・職域薬剤師会の法人化の支援
- 2 会員拡充対策の検討
- 3 地域・職域連絡協議会の開催
- 4 危機管理（災害対策を含む）への対応
- 5 会員（会費収納）管理システムの構築の検討
- 6 日本薬剤師会H P K I（Health Public Key Infrastructure：保健医療福祉分野の公開鍵基盤）認証局（薬剤師資格証の発行）への対応
- 7 薬事功労者、学校保健功労者等の表彰及び推薦
- 8 日薬共済部、薬剤師年金、薬剤師国民年金基金、薬剤師賠償責任保険及び個人情報漏洩保険への加入の促進
- 9 静岡県医師会、静岡県歯科医師会、静岡県病院協会、静岡県病院薬剤師会、静岡県薬事振興会等関係団体との連携・協力
- 10 静岡県薬剤師会館の管理運営